

RV320およびRV325 VPNルータシリーズのパスワード設定

目的

パスワードは、認証に使用される文字列です。RV32x VPNルータシリーズのデフォルトのユーザ名/パスワードはcisco/ciscoです。セキュリティ上の理由から、パスワードをデフォルトから変更することを強く推奨します。ユーザ名またはパスワードを忘れた場合は、回復する方法はありません。この時点で、デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする必要があります。

この記事では、RV32x VPNルータシリーズで新しいパスワードを設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- ・ RV320デュアルWAN VPNルータ
- ・ RV325ギガビットデュアルWAN VPNルータ

[Software Version]

- ・ v1.1.0.09

パスワード設定

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Setup] > [Password]を選択します。「パスワード」ページが開きます。

ステップ2:[Username]フィールドに目的のユーザ名を入力します。ユーザ名は、大文字、小文字、数字、特殊文字で構成できます。

ステップ3:[Old Password]フィールドに以前のパスワードを入力します。

ステップ4:[New Password]フィールドに新しい目的のパスワードを入力します。パスワードは、大文字、小文字、数字、特殊文字で構成できます。

ステップ5:[Confirm New Password]フィールドに新しいパスワードを再入力します。

ステップ6: (オプション) パスワード強度機能を有効にするには、[Password Complexity Settings]フィールドの[Enable]チェックボックスをオンにします。これは、パスワードが十分に複雑であることを確認するために使用されます。このオプションを有効にすると、[Minimal password length]フィールドと[Minimal number of character classes]フィールドが使用可能になります。

- ・ パスワードの最小長 : パスワードの最小長 (0 ~ 64文字) を入力します。デフォルトでは、最小長は8です。
- ・ 文字クラスの最小数 : パスワードに含める必要があるクラスの数を入力します。デフォルトでは、パスワードには少なくとも3つのクラスの文字が含まれている必要があります。大文字(ABCD...)、小文字(abcd..)、数字(1234...)、標準キーボードで使用可能な特殊文字(!@#\$...)

注 : [パスワード強度メーター]フィールドには、新しいパスワードの強度を測定するメーターが表示されます。

ステップ7:[Password Aging Enforcement]フィールドで、目的のパスワード時間に対応するオプションボタンをクリックします。

- ・ Disable : パスワードは常に有効です。
- ・ パスワードの変更 : パスワードが有効な日数を入力します。この時間が過ぎると、RV320はユーザに新しいパスワードの入力を求めます。パスワードエージングの適用機能の範囲は、1日から180日です。

ステップ8:[Session Timeout]値にタイムアウト値を分単位で入力します。これは、RV32xがログイン画面に戻るまで、ユーザがGUIでアイドル状態になることができる時間です。セッションタイムアウト値の範囲は、10 ~ 1440分です。

ステップ9:[Save]をクリックします。新しいパスワードが設定されます。